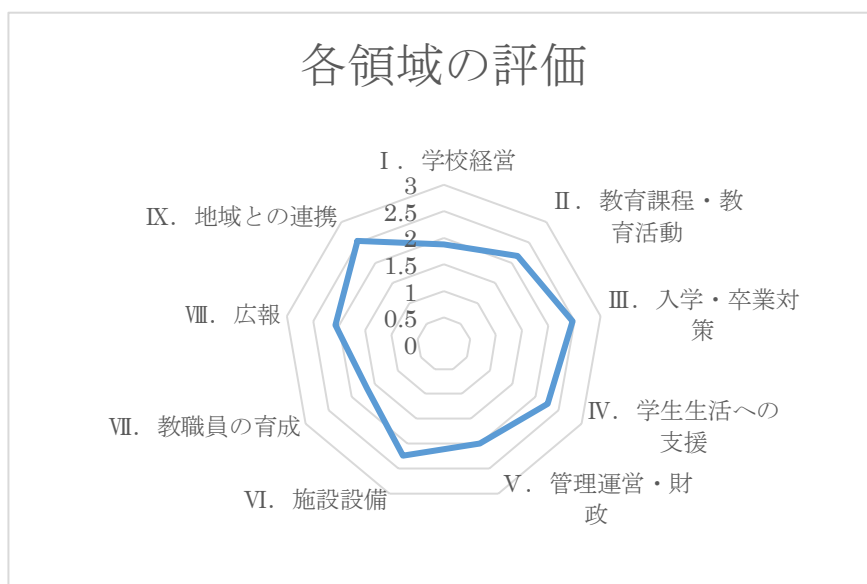


# 平成 30 年度 学校運営評価

新潟看護医療専門学校は、教育の質の向上を図り、学校の設置目的を達成するために、教育活動全般について自己評価を行い、改善を行うための学校運営評価を行っています。

学校運営評価は、9 領域 46 項目からなり、「3 よい」「2 普通」「1 不十分」の 3 段階評価を行っています。

領域	主な内容	項目数
I. 学校経営	学校の組織運営、組織目標について	6
II. 教育課程・教育活動	教育目標、教育内容、授業や実習について、評価について、学生による授業評価の活用等	15
III. 入学・卒業対策	入学希望者への対応、国家試験対策、卒業生への支援	4
IV. 学生生活への支援	就職や進学への支援、経済的支援、健康管理	5
V. 管理運営・財政	個人情報管理、災害への備え等	3
VI. 施設設備	学校の建物、設備、バリアフリーへの配慮	3
VII. 教職員の育成	研修の実施、学会派遣、教員相互の授業参観等	6
VIII. 広報	広報	2
IX. 地域との連携	地域との連携	2



平成 30 年度の学校運営評価において、最も評価が高い項目は「IX. 地域との連携」であった。評価が高い理由として、平成 30 年度より新潟国際情報大学、行政、そして地域住民と協力し地域の課題の検討、そして活性化を図る「支え合いワークショップ」への参加が挙げられる。関係機関と協力し、地域住民の健康増進を図る「健康づくりイベント」、「介護予防運動指導教室」の開催、そして越後赤塚駅前へのクリスマスイルミネーションの設置等の結果を残せた点が高い評価に繋がったと考える。一方、評価が低い項目は「VII. 教職員の育成」、「I. 学校経営」であった。教職員の育成においては、教職員全体として、高め合い、改善を図るため研修等を利用し、日々自己研鑽に努めている。しかし、学内における研修および教職員同士の授業参加、講評については十分に実施できているとは言い難く、実情に沿うよう適宜検討する必要がある。また、学校運営においては、毎年運営評価を行っているものの、具体的な改善策を検討できておらず、問題意識の共有が不十分であったことが考えられる。創立 15 周年という節目を迎え、改めて本校の強みと弱みを認識し、教育環境の整備に取り組むためにも、実情に合った評価項目を再検討していく必要がある。目的意識を共有し、常に勤しむことで、より良い学校運営に取り組めるよう邁進していく。